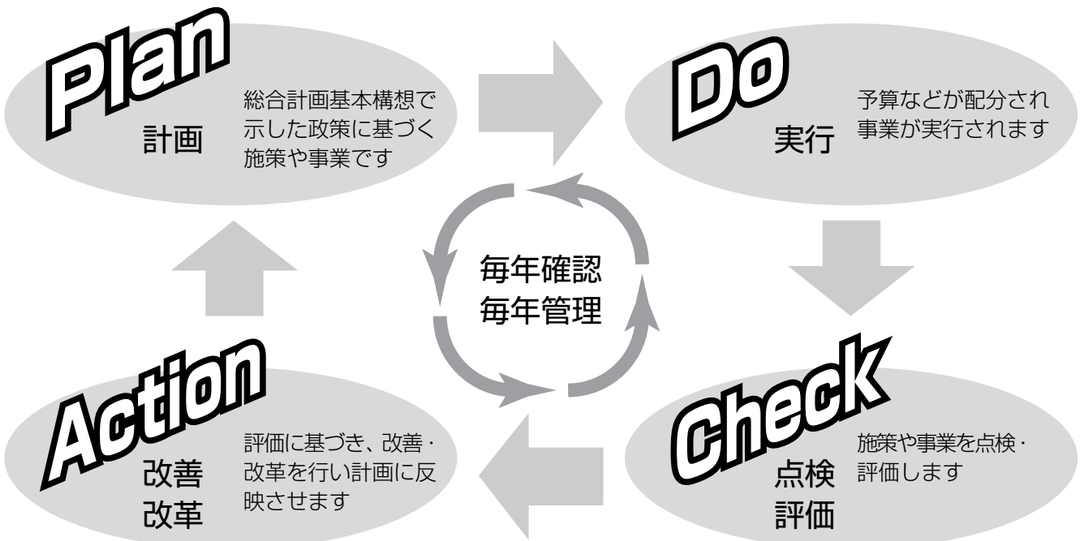
今、役場内で考えていること

ちょっとのぞいてみましょう！

平成20年度事務事業評価の2次評価会議が開催されました

町では、毎年同じように事業を実施するのではなく、すべての事業を点検･評価し、改革･改善案を考えたあと、計画を策定したのちに予算を編成し、翌年度の事業を実施する流れをとっています。



この事業の評価については、各課での自己評価（１次評価）によるのが原則ですが、全体的な方向性を定める必要があると思われる事業については、副町長・教育長などによる「２次評価会議」の中で意見交換を行い、方向性を議論しています。

この２次評価会議が、６月24日に開催されましたので、その時の様子の一部を紹介します。

芽室町消費者協会運営支援事業

・消費者保護は、本来行政の役割であり、その業務を担っている芽室町消費者協会への支援は、引き続き行っていく必要がある。
・現在も最小限の相談員の賃金しか見ておらず、削減は難しい。相談内容が複雑化していることから、相談員の増員も検討する必要があるのでは。
・相談員の資格取得にあたっては、費用の一部を行政が支援してもいいのではないか。
・パソコン機器などの更新の必要がある。

（方向性）

「消費者の安全安心の確保」の成果を向上させるためには、行政の支援を一定程度拡大する必要がある。

協働のまちづくり支援事業

・協働のまちづくりを推進していくことが非常に重要であり、継続して取り組む必要がある。
・今年度から、町民自らが公共施設などの修繕を行う場合、その材料費の補助を行っているが、徐々に相談が増えてきている。
・町民が研修を行う場合に支援する「人材育成事業」については、制度があまり知られていない。広報誌などで、支援を受けた研修の内容を紹介してはどうか。
・制度の見直しを毎年行っているが、逆に分かりづらくなったという町民の意見もあり、制度の広報・周知活動に専念してもいいのではないか。

（方向性）

事業としては、現状維持とし、制度の広報・周知を工夫する。

＊これらの議論をもとに、計画を策定し、予算を検討していきます。まだ、町として決定したものではありません。

㊐企画財政課企画調整係　☎62-9721　✉ k-kikaku@memuro.net

おわびいたします

国民健康保険税課税に伴う共有資産の課税漏れについて

国民健康保険税の資産割課税のうち土地や建物を共有資産としている方々に対しまして、昭和28年の制度開始以来適正に課税されていなかった問題については、国民健康保険の被保険者の方々をはじめ、町民の皆さまに大変ご迷惑をおかけしておりますことを深くおわび申し上げます。

この問題については、平成20年１月の町議会臨時会でご報告させていただき、以降、平成19年度分についての実態調査を進めてまいりました結果、その影響額は、523件で4,645,000円であることを確認いたしました。

現在は、過年度分課税の調査に必要な、平成17、18年度分の影響額の把握に努めておりますが、その結果を踏まえた上で、過年度未課税分の取り扱いについて、適切な判断をしたいと考えております。

また、平成20年度課税分については、共有資産の持ち分に応じた適正な課税を実施し、過日、当初賦課決定をさせていただきました。

今後は、平成21年度以降の国民健康保険税の課税方法について、町民の皆さまからのご意見も十分参考にさせていただき、資産割課税の廃止も含めて見直しを検討してまいります。

芽室町長　宮　西　義　憲

＜公立芽室病院からのお知らせ＞

平成８年10月～平成９年10月頃、当院に糖尿病で入院のお心当たりのある方はご相談くださるようお願いいたします。

このほど、島根県内の医療機関において、複数の患者さんに使用しないことが明示されている採血用穿刺（けんし）器具（針の周辺部分が使い捨てでないもの）を複数の患者に使用し、感染症の発生が疑われる事例が発生したと報道されました。

この採血用穿刺器具とは、糖尿病の患者さんで血糖値を測定する際に、指先などに針を刺し一滴程度のわずかな血液を出すための器具です。

このことを受け、当院で調査したところ同じ構造の採血用穿刺器具（当時の取扱説明書には、上記のような複数の患者に使用しないことは明示されていませんでした）を平成８年10月～平成９年10月に導入していたことが判明したのとあわせて、当時の糖尿病で入院されていた方を対象に、複数の方に使用していたことが分かりました（ただし、11年前当時の入院記録、入院カルテは既に廃棄され、当院には残っておりませんので、どの方が該当するかは特定することができません）。

この器具による国内でのＣ型肝炎などの感染事例はなく、感染の危険性は限りなく低いものですが、念のため、この時期（平成８年10月～平成９年10月）に糖尿病で当院に入院のお心当たりのある方は、肝炎ウイルスなどの検査（無料）をお薦めしますので、当院にてご相談くださるようお願いいたします。

なお、平成９年10月以降は、針と針の周辺部分が一体型で使い捨てとなっている器具を使用しておりますので、感染の危険性はございません。

㊐公立芽室病院事務局医事係　☎62-2811　✉ byouin@memuro.net